

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 事業所番号   | 3870104555      |
| 法人名     | 有限会社 ユニット・ワン    |
| 事業所名    | グループホームユニットまつやま |
| 所在地     | 松山市井門町790-1     |
| 自己評価作成日 | 平成 21年 10月 7日   |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                          |
|----------|------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載 |
|----------|------------------------------------------|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 10 月 30 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議には立場の異なる多くの出席者を得て、自由に意見や要望を出し合ってもらい、可能な提案は即ケアに活かすなど、有効に活用している。ソーメン流し、芋たき、観月会、敬老会など多くの行事を企画して家族にも参加してもらい、生活に潤いを与えるよう支援している。利用者のハーモニカ演奏、職員によるピアノ演奏を聞いたり、CDで懐かしい曲を流し、みんなで口ずさんでいる。職員は、利用者に対して人生の先輩として優しくいねいに接し、本人の望みや思いを把握してサービスの向上に活かしている。居間は天井が高く、自然のやさしい光が射し込み、室内から中庭が眺められ、ゆったりと心が癒される空間となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                | 項 目 |                                                                       | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当する項目に○印 |                |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の   | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらい  |     |                                                                       |                             | 2. 家族の2/3くらいと  |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらい  |     |                                                                       |                             | 3. 家族の1/3くらいと  |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんど掴んでいない  |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどできていない  |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある        | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       | ○                           | 1. ほぼ毎日のように    |
|     |                                                    |                             | 2. 数日に1回程度ある   |     |                                                                       |                             | 2. 数日に1回程度     |
|     |                                                    |                             | 3. たまにある       |     |                                                                       |                             | 3. たまに         |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどない      |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどない      |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 少しずつ増えている   |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. あまり増えていない   |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. 全くいない       |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 66  | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                        | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 職員の2/3くらいが  |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 職員の1/3くらいが  |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどいない     |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                |                             | 1. ほぼ全ての利用者が   | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                         | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                    | ○                           | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどいない     |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 家族等の2/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 家族等の1/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどできていない  |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             |                |

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

## 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

ユニットまつやま

(ユニット名)

A棟

記入者(管理者)

氏 名

町田 千香子

評価完了日

21年

10月

9日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己<br>評価          | 外部<br>評価 | 項 目                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|----------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |          |                                                                      |                                                                                                                                                                                                             |                               |
| 1                 | 1        | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | <p>(自己評価)<br/>理念が実践できるように努力している。<br/>家族や来訪者の方にもわかるように玄関に理念を掲示するようにした。</p> <p>(外部評価)<br/>設立当初から「悔いのないケア」を理念に掲げ、職員全員が共有して、日々の実践につなげている。しかし地域との関係性や連携を基本にした地域密着型サービスに取り組むことが理念からは読み取りにくい。</p>                  |                               |
| 2                 | 2        | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | <p>(自己評価)<br/>地域の活動の参加をしたり催し物の案内を出したりし交流を深めている。<br/>松山市の野球チームを呼んで餅つきを行い交流している。</p> <p>(外部評価)<br/>散歩や買い物に出かけた際には、近隣の方と親しく挨拶を交わして交流を深めている。職員は地域の清掃活動にも参加している。小学校のボランティアを受け入れたり、地方祭には神輿が入るなど、利用者を楽しませてくれる。</p> |                               |
| 3                 |          | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価)<br/>認知症に対する地域の理解をえるようになってきている。<br/>近隣の所からの入居希望も出てきている。</p>                                                                                                                                        |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                     | 実践状況                                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 4        | 3        | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実<br>際、評価への取り組み状況等について報告<br>や話し合いを行い、そこでの意見をサービ<br>ス向上に活かしている     | (自己評価)<br>2ヶ月に1回行い、利用者の家族や市の職員、地域代表<br>の方に参加してもらっている。議事録も玄関に張り出<br>しいつでもだれでも閲覧できるようにしている。                                                           |                               |
|          |          |                                                                                                         | (外部評価)<br>利用者代表、家族、市担当者、地域住民などの出席を<br>得て、2か月ごとに開催している。ホームからは行事<br>報告を行い、また利用者の生活の様子を具体的に伝え<br>ている。出席者からはアイデアや要望を述べてもら<br>い、実践可能な場合は、即ケアに活かすよう努めている。 |                               |
| 5        | 4        | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、<br>事業所の実情やケアサービスの取組みを積<br>極的に伝えながら、協力関係を築くように<br>取り組んでいる                | (自己評価)<br>事業連絡会には出席している。また推進委員会にも参<br>加してもらっている。<br>市や社協、包括センターなどの研修に参加し担当者<br>と話をしたりしている。                                                          |                               |
|          |          |                                                                                                         | (外部評価)<br>市からの訪問はないが、介護サービスに関わる会議な<br>どに参加した際には市担当者と情報交換を行い、協力<br>関係を築けるよう取り組んでいる。                                                                  |                               |
| 6        | 5        | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準におけ<br>る禁止の対象となる具体的な行為」を正し<br>く理解しており、玄関の施錠を含めて身体<br>拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>玄関の施錠に関しては出来ていない。自動ドアだがス<br>イッチを別にしており職員が操作しないと開かない。<br>希望時には希望にそうように対応し入居者さんを外に<br>出している。                                                |                               |
|          |          |                                                                                                         | (外部評価)<br>職員は、身体的・精神的拘束禁止の法令等をよく理解し<br>ており、自由でのびやかな生活が送れるよう見守って<br>いる。建物の構造上、安全面に配慮して日中も玄関に<br>施錠しているが、施錠しないケアが実現できるよう職<br>員間で検討を続けている。             |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 7        |          | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br>言葉、身体的虐待がないか職員間で注意しあっている。                                                                                                                                                                                                                                               |                               |
| 8        |          | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>保佐人のついている人がおり、連携をとっている。成年後見制度についてはパンフレットなどで知識を深めようと努力している。日常生活自立支援事業に関してはまだ理解不足である。                                                                                                                                                                                     |                               |
| 9        |          | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>家族等からの質問に対して説明し理解して頂けるよう努力している。また改訂等あった場合は書面で送っている。                                                                                                                                                                                                                     |                               |
| 10       | 6        | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | <div>(自己評価)</div> 意見、不満、要望、苦情などは受入れ、職員間でミーティングし方法等を考慮し利用者、家族へ説明している。<br>意見箱を設置しておりミーティングなどで話し合い経営者への報告を行ってその結果をホーム内に掲示している。 <div>(外部評価)</div> 本年5月に家族会を結成し、家族の意見をより多くホームに伝えてもらえるように努めている。家族が来訪した際には、利用者の生活の様子やホームの状況を伝え、要望や意見を聞き取っている。玄関には相談箱を備えており、またホーム内及び外部の苦情相談窓口を明示して説明している。 |                               |

| 自己<br>評価                   | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                            | 実践状況                                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 11                         | 7        | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | <p>(自己評価)<br/>最低月1回はミーティングを行い意見交換をしている。代表者とは話し合い等の機会は少ない。</p> <p>(外部評価)<br/>毎月、管理者を含めたミーティングで意見を出し合い、情報を共有している。ミーティングの内容は文書で法人代表に伝え、重要な事項に関しては回答や指示を得ているが、法人代表にミーティングに出席してもらえる機会は多くはない。</p> |                               |
| 12                         |          | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | <p>(自己評価)<br/>職員からの個人的な相談等、希望があれば聴く体制を整えている。またそれぞれのポジションの立場からのミーティングを行い報告を受ける体制を整えている。</p>                                                                                                  |                               |
| 13                         |          | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | <p>(自己評価)<br/>各研修への参加をし知識を高める努力をしている。実践者研修など研修を希望していない人でも順番に受講してもらうようにしている。</p>                                                                                                             |                               |
| 14                         |          | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | <p>(自己評価)<br/>研修や連絡会などで交流を深め情報交換などしている。地区のグループホーム会に参加し交流を図っている。</p>                                                                                                                         |                               |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |          |                                                                                                |                                                                                                                                                                                             |                               |
| 15                         |          | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | <p>(自己評価)<br/>話をよく傾聴し不安の解消や困っている事を聞くようにしている。ホーム内で情報を共有しすぐ対応できるように努力している。</p>                                                                                                                |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 16       |          | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等<br>が困っていること、不安なこと、要望等に<br>耳を傾けながら、関係づくりに努めている         | (自己評価)<br>入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩<br>みまで聞くこともある。                                                                                                                                                                    |                               |
| 17       |          | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と<br>家族等が「その時」まず必要としている支<br>援を見極め、他のサービス利用も含めた対<br>応に努めている | (自己評価)<br>相談を受けた時、さまざまなサービス、利用方法を提<br>供している。                                                                                                                                                                         |                               |
| 18       |          | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場にお<br>かず、暮らしを共にする者同士の関係を築<br>いている                        | (自己評価)<br>コミュニケーションを取りながら昔の事や知っている<br>事を話しあい、教えてもらいながら喜怒哀楽を共にし<br>ようと努めている。                                                                                                                                          |                               |
| 19       |          | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場にお<br>かず、本人と家族の絆を大切にしながら、<br>共に本人を支えていく関係を築いている         | (自己評価)<br>来訪時に話し合いをしたり電話などで話をする時間を<br>作ったりし、一緒に支える関係を築いている。                                                                                                                                                          |                               |
| 20       | 8        | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人<br>や場所との関係が途切れないよう、支援に<br>努めている                     | (自己評価)<br>馴染みの人との面会ができるようにしている。<br>馴染みの場所への支援についてはいろいろ問題があり<br>現状ではできていない。<br>時々車でドライブへ行ったり、近所の散歩などの支援<br>は行っている。<br>(外部評価)<br>利用開始前に利用者の馴染みの場所等を聞き取り、近<br>くの店の場合は買い物に出かけるなどしている。ま<br>た、花見の季節には馴染みの場所へ出かけることもあ<br>る。 |                               |

| 自己<br>評価                           | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                 | 実践状況                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 21                                 |          | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>日常生活の中はもちろんの事レクリエーション、行事などを通じて関わりを持つように努力している。<br>その人のスタイルを重視している。                       |                               |
| 22                                 |          | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>病院入院時は対応しているが他はしていない。                                                                    |                               |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |          |                                                                                     |                                                                                                    |                               |
| 23                                 | 9        | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>随時話し合う場をもっている。<br>本人の希望に沿うように努力している。                                                     |                               |
|                                    |          |                                                                                     | (外部評価)<br>利用開始前に家族から生活習慣や好みを聞き取り、ケアの中に取り入れている。また、利用者一人ひとりに声をかけて会話する時間をもつようにし、本人の希望や思いを把握するよう努めている。 |                               |
| 24                                 |          | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>家族からの情報をもらっている。<br>聞いた話などをファイルに入れて把握に努めている。                                              |                               |
| 25                                 |          | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>24時間の事を経過記録に書き、把握に努めている。<br>気づいた点の情報交換し把握に努めている。                                         |                               |



| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 26       | 10       | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアの<br>あり方について、本人、家族、必要な関係<br>者と話し合い、それぞれの意見やアイディ<br>アを反映し、現状に即した介護計画を作成<br>している | (自己評価)<br>月1回は必ずカンファレンスを行いケアプランに反映<br>させている。                                                                  |                               |
|          |          |                                                                                                                         | (外部評価)<br>日々の食事・水分摂取量、排泄などの記録を基に、職<br>員全員でカンファレンスで検討して介護計画を作成し<br>ている。毎月、また6か月毎に見直しを行い、本人及<br>び家族に確認してもらっている。 |                               |
| 27       |          | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや<br>工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を<br>共有しながら実践や介護計画の見直しに活<br>かしている                             | (自己評価)<br>気づきをもっと記入するとよいと思っている。                                                                               |                               |
| 28       |          | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機<br>能化<br>本人や家族の状況、その時々にもまれる<br>ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ<br>れない、柔軟な支援やサービスの多機能化<br>に取り組んでいる               | (自己評価)<br>サービス関わる希望等あればどんな対応ができるかを<br>スタッフ間で話し合い、代表者の意見を取り入れなが<br>ら対応していくよう努めている。                             |                               |
| 29       |          | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源<br>を把握し、本人が心身の力を発揮しながら<br>安全で豊かな暮らしを楽しむことができる<br>よう支援している                              | (自己評価)<br>町内会長、市役所からの情報を活用している。                                                                               |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                                    | 実践状況                                                                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 30       | 11       | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している                                        | <p>(自己評価)</p> <p>継続した医療が受けられるよう、家族に協力を要請<br/>し、支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>かかりつけ医の訪問診察が2週間から4週間おきに行<br/>われている。また、特に体調に変化があった場合には<br/>日々の健康チェック表を医師に送り、確認してもらう<br/>場合もある。専門医とも連携体制を整えている。</p>                               |                               |
| 31       |          | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | <p>(自己評価)</p> <p>気づきなどあれば経過記録への記入や看護師へ相談、<br/>報告をし支援している。<br/>看護師も医療機関への連絡を取って適切な支援ができ<br/>るようにしている。</p>                                                                                                                    |                               |
| 32       |          | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療でき<br>るように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | <p>(自己評価)</p> <p>入退院時のサマリー交換、見舞いや電話などで情報交<br/>換を行い連絡しあっている。</p>                                                                                                                                                             |                               |
| 33       | 12       | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>家族に見取り指針を説明し医師と家族、家族とスタッ<br/>フ、医師とスタッフで状況に応じて話し合いをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>重度化及び終末期に向けた指針とマニュアルを作成し<br/>ているが、現在は重度化及び看取りケアには対応して<br/>いない。家族には利用開始時に方針を説明しており、<br/>個別に要望を確認しながら適切な対応ができるよう努<br/>めている。</p> |                               |

| 自己<br>評価                         | 外部<br>評価 | 項 目                                                                    | 実践状況                                                                                                                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                                                                          |
|----------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34                               |          | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>スタッフにはできるかぎり救命救急の講習を受けてもらっている。<br>緊急時の連絡体制はあるが定期的に初期対応などの訓練はしていない。                                                                                                                                                       |                                                                                                                        |
| 35                               | 13       | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>災害時には市から情報が届くシステムになっている。<br>年2回は防火訓練を行っているが地域との協力体制はまだあまり築けていない。<br>今後地域の防災訓練等、積極的に参加し協力体制を築いていこうと思っている。<br>(外部評価)<br>年2回災害訓練を実施しており、うち1回は消防署の指導を受けて実施している。マニュアル、職員連絡網を備えている。地域住民に災害時の協力依頼を行っているが、十分な協力体制が整っているとまでは言えない。 | 地域の方と共に訓練を実施できるような協力体制を築くよう働きかけることを期待したい。また、訓練の実施記録は参考資料として整備し、よりわかりやすいマニュアル・連絡簿を要所に備えるとともに、ホーム近辺に避難場所を確保しておくことも求められる。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |          |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                        |
| 36                               | 14       | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>個人記録の保護、個人情報の公開の有無の確認、一人一人にあった言葉かけ・対応に努めている。<br>(外部評価)<br>利用者には人生の先輩として優しく尊敬の念を持って接し、名前では呼びかけたり、排泄時にはさりげなくトイレへ誘導するなど、人格尊重やプライバシー保護に十分配慮している。個人情報の取り扱いについては、全職員が十分理解して適切に対応している。                                          |                                                                                                                        |
| 37                               |          | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>理解力に応じ説明したり支援している。                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                        |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                              | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 38       |          | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>無理強いせず個々にあったペースで過ごしてもらっている。<br>なるべく本人の意思、希望にそった支援をするように努めている。                                                                                                                                                                                          |                               |
| 39       |          | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>本人の希望や好みを聞いて支援している。                                                                                                                                                                                                                                    |                               |
| 40       | 15       | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>マイ箸やマイ茶碗、湯のみがあり、使用されている。<br>月に何度かはバイキング方式や希望の食事を作るようにしている。<br>食器の片付けなどできる人はやってもらっている。食事介助が必要な人がいるためスタッフ、利用者が一緒に食事をとれていない。<br>(外部評価)<br>食器は利用者ごとに専用のものを使用し、ゆったりと食事を楽しんでいる。利用者と一緒に食事をとりたいと考えてはいるが、食事介助の必要な利用者が多いため、やむを得ず職員は介助にあたり、利用者の食事が終わってから食事をとっている。 |                               |
| 41       |          | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>個人記録に食事量や水分摂取の状態を記入しており、そのつど状況に応じて支援している。                                                                                                                                                                                                              |                               |
| 42       |          | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | (自己評価)<br>毎食後はできていない。夕食に行っている。                                                                                                                                                                                                                                   |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                     | 実践状況                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 43       | 16       | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>定期的に声掛けをしトイレ誘導、失禁時はバット交換している。必要な時はポータブルトイレで排泄できるよう支援している。                                                   |                               |
|          |          |                                                                                         | (外部評価)<br>一人ひとりの排泄パターンを把握しており、さりげなく声かけや誘導をするなど、状態に応じた支援に努めている。尿意のない利用者に対しては、排泄チェック表を基に、タイミングを見計らって支援を行っている。           |                               |
| 44       |          | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>毎日個別に便の確認を行い、でていない時などは薬を使ったり、運動への働きかけをしている。                                                                 |                               |
| 45       | 17       | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>週2回の入浴になっているが本人の体調や希望によって回数を増やしたり時間もずらしたりしている。ただ夕方や夜間の入浴はしていない。                                             |                               |
|          |          |                                                                                         | (外部評価)<br>利用者ごとの希望する時間帯に合わせて、週2回以上の入浴を基本とした支援を行っている。羞恥心や恐怖心を与えないよう、気分がほぐれた時点で入浴してもらったり、入浴剤を入れて温泉気分を楽しめるようにするなど配慮している。 |                               |
| 46       |          | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>室温や布団の調整を行い安心して眠れるよう支援している。                                                                                 |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 47       |          | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                           | (自己評価)<br>薬の管理は看護師が行っており、利用者が服薬する時にスタッフが支援している。                                                                      |                               |
| 48       |          | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>体操指導、花の水やり、洗濯物たたみ等できる人は役割を持ってして頂いている。                                                                      |                               |
| 49       | 18       | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>日常的に外出する事は職員の人数状況で無理だが家族への協力、買い物時一緒に外出できるよう心がけている。<br>中庭には自由に出入りできるようにしている。                                |                               |
|          |          |                                                                                                              | (外部評価)<br>車いすの利用者も一緒に、ホーム周辺の安全な場所に毎日散歩に出かけている。買い物に職員と一緒に出かけることもある。また、ドライブを兼ねて花見に出かけたり、近くの高齢者施設の秋祭りに出かけて交流を楽しむなどしている。 |                               |
| 50       |          | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>自己管理できる方は買い物時の使用や、お金を所持されている。                                                                              |                               |
| 51       |          | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                       | (自己評価)<br>各部屋に電話があり好きな時間に使えるようになってきている。                                                                              |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                              | 実践状況                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 52       | 19       | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>共有空間を広くとっている。<br>季節の花を飾ったり、カレンダーなど作っている。                                                 |                               |
|          |          |                                                                                                                                  | (外部評価)<br>天井が高く、柔らかい自然の光が射し込み、明るい雰囲気のある居間は、季節の花を飾ったり、習字の作品や写真を貼って居心地良く過ごせる空間となっている。                |                               |
| 53       |          | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | (自己評価)<br>共有空間にソファをおいたり玄関にイスを置いたり、畳の間もあり自由に過ごせるようにしている。                                            |                               |
| 54       | 20       | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | (自己評価)<br>使い慣れた物は居室に置いている。<br>居室内の物は使い勝手のよいように位置をかえることもできる。                                        |                               |
|          |          |                                                                                                                                  | (外部評価)<br>タンスやベットはホームで用意した備え付けの家具であるが、利用者それぞれが馴染みの調度品を持ち込み、思い出の写真や作品を飾り、自分の部屋らしく居心地よく過ごせるよう工夫している。 |                               |
| 55       |          | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | (自己評価)<br>バリアフリー、手すり設置で歩行器や車椅子でも動き安いうにしている。<br>トイレや部屋の前に名札をつけわかり易いようにしている。                         |                               |

(別表第1の3)

## 評価結果概要表

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 事業所番号   | 3870104555      |
| 法人名     | 有限会社 ユニット・ワン    |
| 事業所名    | グループホームユニットまつやま |
| 所在地     | 松山市井門町790-1     |
| 自己評価作成日 | 平成 21年 10月 7日   |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 10 月 30 日 |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議には立場の異なる多くの出席者を得て、自由に意見や要望を出し合ってもらい、可能な提案は即ケアに活かすなど、有効に活用している。ソーメン流し、芋たき、観月会、敬老会など多くの行事を企画して家族にも参加してもらい、生活に潤いを与えるよう支援している。利用者のハーモニカ演奏、職員によるピアノ演奏を聞いたり、CDで懐かしい曲を流し、みんなで口ずさんでいる。職員は、利用者に対して人生の先輩として優しくいねいに接し、本人の望みや思いを把握してサービスの向上に活かしている。居間は天井が高く、自然のやさしい光が射し込み、室内から中庭が眺められ、ゆったりと心が癒される空間となっている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                | 項 目 |                                                                       | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当する項目に○印 |                |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の   | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらい  |     |                                                                       |                             | 2. 家族の2/3くらいと  |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらい  |     |                                                                       |                             | 3. 家族の1/3くらいと  |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんど掴んでいない  |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどできていない  |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある        | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       | ○                           | 1. ほぼ毎日のように    |
|     |                                                    |                             | 2. 数日に1回程度ある   |     |                                                                       |                             | 2. 数日に1回程度     |
|     |                                                    |                             | 3. たまにある       |     |                                                                       |                             | 3. たまに         |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどない      |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどない      |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 少しずつ増えている   |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. あまり増えていない   |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. 全くいない       |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 66  | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                        | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 職員の2/3くらいが  |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 職員の1/3くらいが  |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどいない     |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                         | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどいない     |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             | 2. 家族等の2/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             | 3. 家族等の1/3くらいが |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             | 4. ほとんどできていない  |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が   |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                       |                             |                |
|     |                                                    |                             | 4. ほとんどいない     |     |                                                                       |                             |                |



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## Ⅰ.理念に基づく運営

## Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

## 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

ユニットまつやま

(ユニット名)

B棟

記入者(管理者)

氏 名

日野 洋子

評価完了日

21年

10月

9日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己<br>評価          | 外部<br>評価 | 項 目                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|----------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |          |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                |                               |
| 1                 | 1        | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | <p>(自己評価)<br/>理念が実践できるように努力している。<br/>家族や来訪者の方にもわかるように玄関に理念を掲示するようにした。</p> <p>(外部評価)<br/>設立当初から「悔いのないケア」を理念に掲げ、職員全員が共有して、日々の実践につなげている。しかし地域との関係性や連携を基本にした地域密着型サービスに取り組むことが理念からは読み取りにくい。</p>                     |                               |
| 2                 | 2        | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | <p>(自己評価)<br/>地域の活動の参加をしたり催し物の案内を出したりし交流を深めている。<br/>松山市の野球チームを呼んで餅つきを行い交流している。</p> <p>(外部評価)<br/>散歩や買い物に出かけた際には、近隣の方と親しく挨拶を交わして交流を深めている。職員は地域の清掃活動にも参加している。小学校のボランティアを受け入れたり、地方祭には神輿が入るなど、利用者を楽しませてもらっている。</p> |                               |
| 3                 |          | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価)<br/>認知症に対する地域の理解をえるようになってきている。<br/>近隣の所からの入居希望も出てきている。</p>                                                                                                                                           |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 4        | 3        | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>2ヶ月に1回行い、利用者の家族や市の職員、地域代表の方に参加してもらっている。議事録も玄関に張り出しいつでもだれでも閲覧できるようにしている。                                                   |                               |
|          |          |                                                                                             | (外部評価)<br>利用者代表、家族、市担当者、地域住民などの出席を得て、2か月ごとに開催している。ホームからは行事報告を行い、また利用者の生活の様子を具体的に伝えている。出席者からはアイデアや要望を述べてもらい、実践可能な場合は、即ケアに活かすよう努めている。 |                               |
| 5        | 4        | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>事業連絡会には出席している。また推進委員会にも参加してもらっている。<br>市や社協、包括センターなどの研修に参加し担当者と話をしたりしている。                                                  |                               |
|          |          |                                                                                             | (外部評価)<br>市からの訪問はないが、介護サービスに関わる会議などに参加した際には市担当者と情報交換を行い、協力関係を築けるよう取り組んでいる。                                                          |                               |
| 6        | 5        | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>玄関の施錠に関しては出来ていない。自動ドアだがスイッチを別にしており職員が操作しないと開かない。希望時には希望にそうように対応し入居者さんを外に出している。                                            |                               |
|          |          |                                                                                             | (外部評価)<br>職員は、身体的・精神的拘束禁止の法令等をよく理解しており、自由でのびやかな生活が送れるよう見守っている。建物の構造上、安全面に配慮して日中も玄関に施錠しているが、施錠しないケアが実現できるよう職員間で検討を続けている。             |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 7        |          | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている       | (自己評価)<br>言葉、身体的虐待がないか職員間で注意しあっている。                                                                                                                                                                                                                                               |                               |
| 8        |          | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>成年後見制度についてはパンフレットなどで知識を深めようと努力している。<br>日常生活自立支援事業に関してはまだ理解不足である。                                                                                                                                                                                                        |                               |
| 9        |          | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>家族等からの質問に対して説明し理解して頂けるよう努力している。また改訂等あった場合は書面で送っている。                                                                                                                                                                                                                     |                               |
| 10       | 6        | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | <div>(自己評価)</div> 意見、不満、要望、苦情などは受入れ、職員間でミーティングし方法等を考慮し利用者、家族へ説明している。<br>意見箱を設置しておりミーティングなどで話し合い経営者への報告を行ってその結果をホーム内に掲示している。 <div>(外部評価)</div> 本年5月に家族会を結成し、家族の意見をより多くホームに伝えてもらえるように努めている。家族が来訪した際には、利用者の生活の様子やホームの状況を伝え、要望や意見を聞き取っている。玄関には相談箱を備えており、またホーム内及び外部の苦情相談窓口を明示して説明している。 |                               |

| 自己<br>評価                   | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                            | 実践状況                                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 11                         | 7        | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | <p>(自己評価)<br/>最低月1回はミーティングを行い意見交換をしている。代表者とは話し合い等の機会は少ない。</p> <p>(外部評価)<br/>毎月、管理者を含めたミーティングで意見を出し合い、情報を共有している。ミーティングの内容は文書で法人代表に伝え、重要な事項に関しては回答や指示を得ているが、法人代表にミーティングに出席してもらえる機会は多くはない。</p> |                               |
| 12                         |          | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | <p>(自己評価)<br/>職員からの個人的な相談等、希望があれば聴く体制を整えている。またそれぞれのポジションの立場からのミーティングを行い報告を受ける体制を整えている。</p>                                                                                                  |                               |
| 13                         |          | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | <p>(自己評価)<br/>各研修への参加をし知識を高める努力をしている。実践者研修など研修を希望していない人でも順番に受講してもらうようにしている。</p>                                                                                                             |                               |
| 14                         |          | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | <p>(自己評価)<br/>研修や連絡会などで交流を深め情報交換などしている。地区のグループホーム会に参加し交流を図っている。</p>                                                                                                                         |                               |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |          |                                                                                                |                                                                                                                                                                                             |                               |
| 15                         |          | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | <p>(自己評価)<br/>話をよく傾聴し不安の解消や困っている事を聞くようにしている。ホーム内で情報を共有しすぐ対応できるように努力している。</p>                                                                                                                |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 16       |          | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等<br>が困っていること、不安なこと、要望等に<br>耳を傾けながら、関係づくりに努めている         | (自己評価)<br>入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩<br>みまで聞くこともある。                                                                                       |                               |
| 17       |          | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と<br>家族等が「その時」まず必要としている支<br>援を見極め、他のサービス利用も含めた対<br>応に努めている | (自己評価)<br>相談を受けた時、さまざまなサービス、利用方法を提<br>供している。                                                                                            |                               |
| 18       |          | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場にお<br>かず、暮らしを共にする者同士の関係を築<br>いている                        | (自己評価)<br>コミュニケーションを取りながら昔の事や知っている<br>事を話しあい、教えてもらいながら喜怒哀楽を共にし<br>ようと努めている。<br>しかしながら介護中心となっている。                                        |                               |
| 19       |          | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場にお<br>かず、本人と家族の絆を大切にしながら、<br>共に本人を支えていく関係を築いている         | (自己評価)<br>来訪時に話し合いをしたり電話などで話をする時間を<br>作ったりし、一緒に支える関係を築いている。                                                                             |                               |
| 20       | 8        | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人<br>や場所との関係が途切れないよう、支援に<br>努めている                     | (自己評価)<br>こちらからは積極的には働きかけできていない。<br><br>(外部評価)<br>利用開始前に利用者の馴染みの場所等を聞き取り、近<br>くの店の場合は買い物に出かけるなどしている。ま<br>た、花見の季節には馴染みの場所へ出かけることもあ<br>る。 |                               |

| 自己<br>評価                           | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                 | 実践状況                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 21                                 |          | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>日常生活の中はもちろんの事レクリエーション、行事などを通じて関わりを持つように努力している。<br>その人のスタイルを重視している。                       |                               |
| 22                                 |          | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>病院入院時は対応しているが他はしていない。                                                                    |                               |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |          |                                                                                     |                                                                                                    |                               |
| 23                                 | 9        | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>随時話し合う場をもっている。<br>本人の希望に沿うように努力している。                                                     |                               |
|                                    |          |                                                                                     | (外部評価)<br>利用開始前に家族から生活習慣や好みを聞き取り、ケアの中に取り入れている。また、利用者一人ひとりに声をかけて会話する時間をもつようにし、本人の希望や思いを把握するよう努めている。 |                               |
| 24                                 |          | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>家族からの情報をもらっている。<br>聞いた話などをファイルに入れて把握に努めている。                                              |                               |
| 25                                 |          | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>24時間の事を経過記録に書き、把握に努めている。<br>気づいた点の情報交換し把握に努めている。                                         |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 26       | 10       | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアの<br>あり方について、本人、家族、必要な関係<br>者と話し合い、それぞれの意見やアイディ<br>アを反映し、現状に即した介護計画を作成<br>している | (自己評価)<br>月1回は必ずカンファレンスを行いケアプランに反映<br>させている。                                                                  |                               |
|          |          |                                                                                                                         | (外部評価)<br>日々の食事・水分摂取量、排泄などの記録を基に、職<br>員全員でカンファレンスで検討して介護計画を作成し<br>ている。毎月、また6か月毎に見直しを行い、本人及<br>び家族に確認してもらっている。 |                               |
| 27       |          | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや<br>工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を<br>共有しながら実践や介護計画の見直しに活<br>かしている                             | (自己評価)<br>気づきをもっと記入するとよいと思っている。                                                                               |                               |
| 28       |          | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機<br>能化<br>本人や家族の状況、その時々にもまれる<br>ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ<br>れない、柔軟な支援やサービスの多機能化<br>に取り組んでいる               | (自己評価)                                                                                                        |                               |
| 29       |          | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源<br>を把握し、本人が心身の力を発揮しながら<br>安全で豊かな暮らしを楽しむことができる<br>よう支援している                              | (自己評価)<br>町内会長、市役所からの情報を活用している。                                                                               |                               |



| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                                    | 実践状況                                                                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 30       | 11       | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している                                        | <p>(自己評価)</p> <p>継続した医療が受けられるよう、家族に協力を要請<br/>し、支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>かかりつけ医の訪問診察が2週間から4週間おきに行<br/>われている。また、特に体調に変化があった場合には<br/>日々の健康チェック表を医師に送り、確認してもらう<br/>場合もある。専門医とも連携体制を整えている。</p>                               |                               |
| 31       |          | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | <p>(自己評価)</p> <p>気づきなどあれば経過記録への記入や看護師へ相談、<br/>報告をし支援している。<br/>看護師も医療機関への連絡を取って適切な支援ができ<br/>ようしている。</p>                                                                                                                      |                               |
| 32       |          | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療でき<br>るように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | <p>(自己評価)</p> <p>入退院時のサマリー交換、見舞いや電話などで情報交<br/>換を行い連絡しあっている。</p>                                                                                                                                                             |                               |
| 33       | 12       | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>家族に見取り指針を説明し医師と家族、家族とスタッ<br/>フ、医師とスタッフで状況に応じて話し合いをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>重度化及び終末期に向けた指針とマニュアルを作成し<br/>ているが、現在は重度化及び看取りケアには対応して<br/>いない。家族には利用開始時に方針を説明しており、<br/>個別に要望を確認しながら適切な対応ができるよう努<br/>めている。</p> |                               |

| 自己<br>評価                         | 外部<br>評価 | 項 目                                                                    | 実践状況                                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                                                                                                 |
|----------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34                               |          | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>スタッフにはできるかぎり救命救急の講習を受けてもらっている。<br>緊急時の連絡体制はあるが定期的に初期対応などの訓練はしていない。                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |
| 35                               | 13       | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>災害時には市から情報が届くシステムになっている。年2回は防火訓練を行っているが地域との協力体制はまだあまり築けていない。<br>今後地域の防災訓練等、積極的に参加し協力体制を築いていこうと思っている。<br>(外部評価)<br>年2回災害訓練を実施しており、うち1回は消防署の指導を受けて実施している。マニュアル、職員連絡網を備えている。地域住民に災害時の協力依頼を行っているが、十分な協力体制が整っているとまでは言えない。 | 地域自主防災組織等とも十分に連携を図り、さらに地域の方と共に訓練を実施できるような協力体制を築くよう働きかけることを期待したい。また、訓練の実施記録は参考資料として整備し、よりわかりやすいマニュアル・連絡簿を要所に備えるとともに、ホーム近辺に避難場所を確保しておくことも求められる。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |          |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                               |
| 36                               | 14       | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>個人記録の保護、個人情報の公開の有無の確認、一人一人にあった言葉かけ・対応に努めている。<br>(外部評価)<br>利用者には人生の先輩として優しく尊敬の念を持って接し、名前呼びかけたり、排泄時にはさりげなくトイレへ誘導するなど、人格尊重やプライバシー保護に十分配慮している。個人情報の取り扱いについては、全職員が十分理解して適切に対応している。                                        |                                                                                                                                               |
| 37                               |          | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>理解力に応じ説明したり支援している。                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                              | 実践状況                                                                                                                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 38       |          | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>無理強いせず個々にあったペースで過ごしてもらっている。<br>なるべく本人の意思、希望にそった支援をするように努めている。                                                                                                                                               |                               |
| 39       |          | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>着心地のよさを優先している。                                                                                                                                                                                              |                               |
| 40       | 15       | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>食事は楽しみにしておられる。会社の方針があり、できない部分があるが片付けは手伝ってもらっている。<br>共に食事をとることは介助者が増えたためできていない。<br>(外部評価)<br>食器は利用者ごとに専用のものを使用し、ゆったりと食事を楽しんでいる。利用者と一緒に食事をとりたいと考えてはいるが、食事介助の必要な利用者が多いため、やむを得ず職員は介助にあたり、利用者の食事が終わってから食事をとっている。 |                               |
| 41       |          | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>個人記録に食事量や水分摂取の状態を記入しており、そのつど状況に応じて支援している。                                                                                                                                                                   |                               |
| 42       |          | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | (自己評価)<br>毎食後はできていないお茶を飲んでもらい口腔内の清潔保持に努めている。                                                                                                                                                                          |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                     | 実践状況                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 43       | 16       | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>定期的に声掛けをしトイレ誘導、失禁時はバット交換している。必要な時はポータブルトイレで排泄できるよう支援している。                                                   |                               |
|          |          |                                                                                         | (外部評価)<br>一人ひとりの排泄パターンを把握しており、さりげなく声かけや誘導をするなど、状態に応じた支援に努めている。尿意のない利用者に対しては、排泄チェック表を基に、タイミングを見計らって支援を行っている。           |                               |
| 44       |          | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>チェック表を作成し管理している。                                                                                            |                               |
|          |          |                                                                                         |                                                                                                                       |                               |
| 45       | 17       | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>希望をする方がおられない。<br>職員の声掛けに拒否する人もいない為日時はこちらで決めている。入浴の仕方は個々によりあわせている。                                           |                               |
|          |          |                                                                                         | (外部評価)<br>利用者ごとの希望する時間帯に合わせて、週2回以上の入浴を基本とした支援を行っている。羞恥心や恐怖心を与えないよう、気分がほぐれた時点で入浴してもらったり、入浴剤を入れて温泉気分を楽しめるようにするなど配慮している。 |                               |
| 46       |          | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>室温や布団の調整を行い安心して眠れるよう支援している。                                                                                 |                               |
|          |          |                                                                                         |                                                                                                                       |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 47       |          | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                           | (自己評価)<br>薬の管理は看護師が行っており、利用者が服薬する時にスタッフが支援している。                                                                        |                               |
| 48       |          | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>体操指導、花の水やり、洗濯物たたみ等できる人は役割を持ってして頂いている。                                                                        |                               |
| 49       | 18       | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>日常的に外出する事は職員の人数状況で無理だが家族への協力、買い物時一緒に外出できるよう心がけている。<br>回数的には少ない。<br>中庭には自由に出入りできるようにしている。                     |                               |
|          |          |                                                                                                              | (外部評価)<br>車いすの利用者も一緒に、ホーム周辺の安全な場所に毎日散歩に出かけている。買い物に職員と一緒に出かけられることもある。また、ドライブを兼ねて花見に出かけたり、近くの高齢者施設の秋祭りに出かけて交流を楽しむなどしている。 |                               |
| 50       |          | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>認知症の進んでいる人が多い為レベル的に無理がある。                                                                                    |                               |
| 51       |          | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                       | (自己評価)<br>できる人には支援している。                                                                                                |                               |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                              | 実践状況                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 52       | 19       | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>共有空間を広くとっている。<br>季節の花を飾ったり、カレンダーなど作っている。                                                 |                               |
|          |          |                                                                                                                                  | (外部評価)<br>天井が高く、柔らかい自然の光が射し込み、明るい雰囲気のある居間は、季節の花を飾ったり、習字の作品や写真を貼って居心地良く過ごせる空間となっている。                |                               |
| 53       |          | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | (自己評価)<br>共有空間にソファをおいたり玄関にイスを置いたり、畳の間もあり自由に過ごせるようにしている。                                            |                               |
| 54       | 20       | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | (自己評価)<br>使い慣れた物は居室に置いている。<br>居室内の物は使い勝手のよいように位置をかえることもできる。<br>自分の部屋との自覚はもっている。                    |                               |
|          |          |                                                                                                                                  | (外部評価)<br>ダンスやベットはホームで用意した備え付けの家具であるが、利用者それぞれが馴染みの調度品を持ち込み、思い出の写真や作品を飾り、自分の部屋らしく居心地よく過ごせるよう工夫している。 |                               |
| 55       |          | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | (自己評価)<br>バリアフリー、手すり設置で歩行器や車椅子でも動きやすいようにしている。<br>トイレや部屋の前に名札をつけわかり易いようにしている。                       |                               |